

# 女性検診の ごあんない

平成29年度も、乳がん検査、子宮がん検査は、  
女性医師と女性技師が行います。

# 女性特有のがん早期発見にお役立て下さい！

女性なら誰でもかかる可能性のある乳がん、子宮がん。心配ではありませんか？  
国立がんセンターの予測では、10年前に比べ、約1.8倍の方が乳がん、約1.4倍の方が子宮がんにかかるとの予測が出ています。  
がんは、発見が早いほど完治する確率が高くなります。  
早期発見のために乳がん、子宮がん検診をおすすめします。

## 乳がん検査

### 女性のかかりやすい癌、第1位！

現在、日本人女性の20人に1人が乳がんにかかるといわれています。  
日本の乳がんは、欧米に比べて子育て中や働き盛りの30～40代に多く、近年増加傾向にあります。  
早期発見の手がかりは「わずかなしこり」の触知と、マンモグラフィ（乳房X線撮影）や  
乳腺エコー（乳房超音波検査）による診断です。乳がんは、早期であれば約90%の人が治癒します。  
早期発見のために、自己検診と定期的な乳がん検診をおすすめいたします。

20～30代の女性では、乳腺の活動が活発な年代で乳房の密度が高く、乳腺とがんの区別が  
つきにくいので、超音波での検査をおすすめします。

40代以上の女性では、乳腺の活動も活発ですが、脂肪組織も増加し次第に変化してくる時期と  
なります。

この年代では、乳腺エコー検査とマンモグラフィの併用が望まれます。

なお、自覚症状（しこり、乳頭からの血性分泌等）のある方は、病院（乳腺外科）を受診してください。

### ■ マンモグラフィ（乳房X線）・・・ 1方向：3,240円・2方向：5,400円

乳房を左右片方ずつ、フィルム台とプラスチック板とではさんで撮影します。

乳房をはさんで撮りますので、圧迫の際には個人差もありますが多少の  
痛みを伴うことがあります。

しかし圧迫は、より良い画像を得るために不可欠です。

圧迫することで視現範囲が広くなり、体の動きによる写真のボケも防止し、  
石灰化の様な細かい病変を発見することができます。

※心臓ペースメーカー、乳房の手術（豊胸手術など）をされている方、  
妊娠中・授乳中の方は、受診していただけません。



### ■ 乳腺エコー（乳房超音波）・・・ 3,240円

超音波を使って乳房の断面像を描写する検査です。乳腺の病気の存在や質の診断を行います。

乳房にゼリーをぬり、プローブという機械の一部を皮膚にあて乳房全体とその周囲（腋など）をすべらせて  
いきます。痛みもなく、放射線被ばくもありません。

## 子宮がん検査

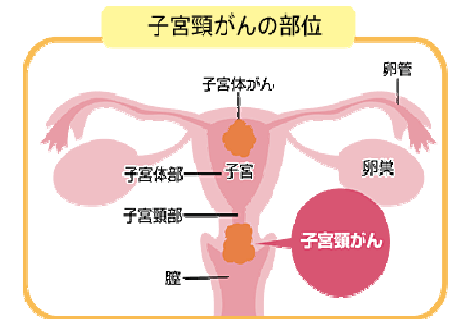
子宮がんは、女性なら誰でもかかる可能性のある病気です。  
そして、日本では子宮頸がんが、子宮がん全体の70～80%を占めています。

### ■ 子宮頸がん検査（子宮頸部細胞診）・・・ 3,024円

#### 『子宮頸がん』ってどんな病気？

子宮がんは発生部位により、子宮体がんと子宮頸がんに分けられます。  
子宮頸がんは子宮の入り口にできるもので、女性特有のがんの中では  
乳がんに次いで多く、また近年では20代後半～30代で急増しています。  
初期には全く症状がないことがほとんどで、異常に気がついたときには  
進行しているということも少なくありません。

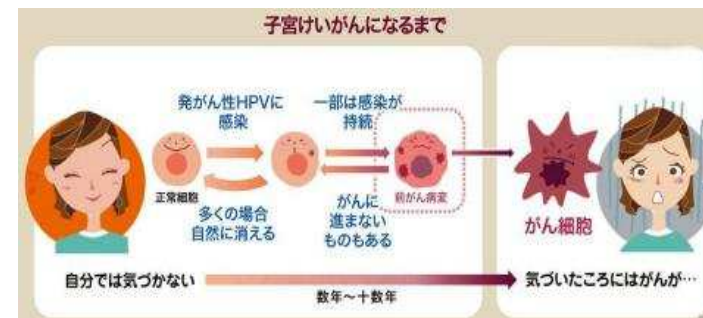
※当センターの子宮がん検査は、子宮頸がん検査（子宮頸部細胞診）です。  
婦人科の専門医が綿棒のような器具で子宮頸部表面をこすり、細胞を採取します。



### ■ HPV検査・・・ 8,424円（子宮頸部細胞診含む）

#### 子宮頸がんの原因は『ウイルス』

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス（HPV）というウイルスが原因となることがほとんどです。  
HPVには100以上もの種類がありますが、そのうち約15種類のHPVが原因となり、発がん性HPVと呼ばれ  
ています。発がん性HPVは粘膜同士の接触によって感染し、多くの場合性交渉によって感染すると考えられてい  
ます。



女性の約80%が1度は感染するとされ、中でもHPV  
16型とHPV18型と呼ばれる2種類は、子宮頸がん  
を発症している20～30代の女性の約70～80%から  
見つかっています。  
感染しても多くの場合は免疫力によってウイルスが排  
除されますが、何らかの理由によりHPVが持続感染し  
た場合、長い年月（平均で10年以上）をかけて子宮頸  
がんへと進行します。

早い段階で発見すれば、がんになる前に治療が可能になり、子宮頸がんを確実に予防できます。

#### 細胞診とHPV検査を同時に受診することをおすすめします！

現在、子宮頸がん検診は細胞診での検査が主流ですが、ウイルス感染の有無を調べるHPV検査を併用すれば、  
精度が向上します。この機会に細胞診とHPV検査の受診をご検討ください。

※HPV検査は、小さなブラシのついた器具（綿棒より少し大きめ）で子宮頸部表面をこすり細胞を採取します。  
1回の採取で細胞診とHPV検査をおこないます。痛みはほとんどありません

お得な女性健診セットもご準備しております。お気軽にお問合わせください。

#### 【お申込み・お問い合わせ】

（一財）九州健康総合センター 健診企画グループ  
TEL：093-672-6210 FAX：093-681-3495  
受付時間 8：30～17：00

